

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>ただ今から平成26年度第1回長岡市障害者施策推進協議会を開会します。</p> <p>長岡市身体障害者連合会 事務局長 菊池 努委員、長岡市ろうあ者福祉協会 小林 秀治委員、新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部 副部長 長井 亮委員、長岡市民生委員児童委員協議会 会長 長谷川 剛委員、新潟県立精神医療センター 院長 丸山 直樹委員、長岡公共職業安定所 所長 山本 一郎委員は、所用のため欠席でございますので、あらかじめ御報告いたします。</p> <p>開会にあたりまして、福祉保健部長より御挨拶を申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>皆様おはようございます。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今年度第1回目の長岡市障害者施策推進協議会ということで、まずもってこの障害者施策推進協議会の委員に御多忙の中、就任を承諾いただきまして誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいいたします。</p> <p>御承知のように障害者福祉の環境、制度の動きにつきましては、ここ数年来非常に大きな法改正もありまして、新たな枠組みができつつある状況でございます。その中において、今年度の障害者施策推進協議会では来年度からの3か年になります第4期障害者基本計画・障害福祉計画の策定に向けての議論が中心的なテーマになるかと思えます。</p> <p>今後の障害者施策の課題は多々ありまして、後ほど担当課長のほうから簡単に御説明させていただきますが、いわゆる相談支援のさらなる充実であったり、地域移行の問題、社会参加、就労の課題、また、整理ができて差別解消の取り組みも私ども行政も含めて仕組みづくりをしていくという段階になっております。</p> <p>それぞれの課題の中にはなかなか難しい課題もあるのですが、一つ一つ今日お集まりの皆様方にご協力いただきながら、少しずつ解決なり仕組み作りを積み上げる中で、その積み上げが結果として全体の福祉施策の中心になっていくことと思っております。一朝一夕にすぐにできるものではないということもありますが、むしろ着実にやっていきたいと私どもは考えておりますので、是非色々な御意</p>

福祉総務課企画係長

見、御提言もあろうかと思しますので、今後ともそのような御提言をいただきながらそれをまとめていくことを差しあたったの課題としていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 委員、事務局紹介

このたびは、委員の就任をお願いしたところ、ご承諾いただき誠にありがとうございました。ここで、委員の皆様にお一人ずつ自己紹介をお願いします。

では、順に、自己紹介をお願いいたします。

(各自自己紹介)

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

福祉保健部長は御挨拶申し上げましたので、福祉総務課長から順にお願いします。

(各自自己紹介)

ここで資料の確認をお願いします。事前に送付させていただいた資料は、

- ・ 次第
- ・ 資料 1 「長岡市障害者施策推進協議会規則」
- ・ 資料 2 「長岡市の障害者福祉の現状」
- ・ 資料 3 - 1 「主要事業実施状況」
- ・ 資料 3 - 2 「平成 26 年度における数値目標について」
- ・ 資料 3 - 3 「障害福祉サービス等利用実績」
- ・ 資料 4 「第 4 期計画の策定について」「多機能拠点構想」「障害者施策推進協議会開催等のスケジュール(案)」「障害者施策の主要課題」
- ・ 資料 5 「長岡市障害者自立支援協議会の構成」「自立支援協議会委員名簿」

本日配付資料として、

- ・ 委員名簿
- ・ 本日の会議の配席図
- ・ 「長岡市障害者生活実態調査報告書」

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>となっております。</p> <p>この実態調査につきましては、第4期の計画を策定するにあたり、障害者の生活実態を把握して、今後の計画の基礎資料とすることを目的に、昨年度、長岡大学さんの協力を得まして、実施したものでございます。本日は特に説明は申し上げませんが、参考にご覧いただきたいと思います。</p> <p>3 委員長、副委員長の選任について</p> <p>それでは、本協議会の委員長、副委員長の選任に入ります。まず、福祉総務課長から、委員長、副委員長の選出方法について説明いたします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは御説明をさせていただきます。資料 1 をご覧ください。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p> <p>長岡市障害者施策推進協議会規則第4条に基づき、委員長、副委員長の選任を行いたいと思います。御提案がある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>特にご意見がなければ、事務局に一任いただけますでしょうか。</p> <p>事務局に一任いただきましたので、御提案させていただきます。前回、委員長でいらっしゃった本田史朗委員に委員長をお引き受けいただきたいと思います。また、副委員長には内藤委員にお引き受けいただきたいと思います。</p> <p>承認いただけるようでしたら拍手をお願いします。</p> <p>(拍手)</p> <p>承認いただきありがとうございました。</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>それでは本田委員に委員長を、内藤委員に副委員長をお願いしたいと思いますので、本田委員は委員長席に、内藤委員は副委員長席にお座りください。</p>

<p>委員長</p>	<p>それでは、本田委員長、内藤副委員長から、ひとこと御挨拶をお願いいたします。</p> <p>ただいま選任いただきました長岡市社会福祉協議会の本田と申します。</p> <p>今、第3期の長岡市障害者福祉施策が進行しているところであります。今回の会議は、それと同時に第4期の長岡市の障害者福祉施策を進めていくという、色々な体系の中から出てくるのではなかろうかと思っておりますので、また、皆様の積極的な御意見、そして積極的な体制でいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>副委員長</p>	<p>長岡大学の内藤でございます。</p> <p>前職がコンサルタントということで、行政の色々なお仕事をお手伝いさせていただくことが多かったのですが、その中でも福祉の関係はあまりやったことがありませんので、色々とお指導よろしくお願いたします。</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの進行は、委員長をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。それでは議題に入る前に、会議の傍聴について、確認したいと思います。</p> <p>この会議は公開です。本日、傍聴希望者がいらっしゃいますが、委員の皆様、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>承認をいただきましたので、傍聴を許可することといたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>4 議題</p> <p>それでは、議題の(1)長岡市障害者施策推進協議会について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>(資料 1 に沿って説明)</p> <p>以上です。</p>

<p>委員長</p>	<p>はい。議題（１）ではこの障害者施策推進協議会の性格について説明をいただきました。</p> <p>今の説明に対して、質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>無いようでしたら、次に進みたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、議題の（２）長岡市障害者福祉の現状について及び（３）第３期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>はい。それでは（２）長岡市障害者福祉の現状について、福祉課のほうから御報告させていただきます。資料 ２をご覧ください。</p> <p>（資料 ２に沿って説明）</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは続きまして、（３）第３期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について、御説明させていただきます。</p>
<p>福祉総務課長 福祉課長 子ども家庭課長 学校教育課長</p>	<p>（資料 ３ - １に沿って説明）</p>
<p>福祉課長</p>	<p>続きまして、第３期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況のうち、障害福祉計画の部分について御説明させていただきます。</p> <p>（資料 ３ - ２、３ - ３に沿って説明）</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま、現状について、それから基本計画等の進捗状況について、ハード、ソフト、そして資料に基づいて福祉サービスの利用状況の説明がございました。</p>

<p>委員</p>	<p>非常に多岐に渡っておりますけれども、今の説明に対して、質問やご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>(2)の「長岡市障害者福祉の現状について」御質問させていただきたいと思います。</p> <p>身体、知的、精神の3障害について、手帳交付数による実数が出ていますが、精神の場合には、手帳を持たない人が圧倒的に多く、支援に結びつかない人達がまだまだ沢山いるわけです。全体的に見ても、やはりサービスに結びついていない人達への施策が弱いかなと日頃思っています。</p> <p>例えば、ここで手帳保持者が1,421人となっておりますが、統合失調症の実数だけ見てもこの倍以上はいるわけで、精神の問題を含めたら、もっとものすごい数になってくるんだろうと思うのですが、そういう実態をどのように把握されていらっしゃるのか。そしてそれに対する、支援に結びついていない人達への施策というのはやはり、やりにくい面が多々あるかとは思いますが、そのあたりへの配慮はどうなっているのか伺いたいと思います。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>今ほどの、手帳を持っていない精神障害の方という御指摘ですがけれども、身体障害者の方は、身体障害者福祉法で障害者の定義が身体障害者手帳を持っている方、ということで決まっておりますので分かりやすいのですが、知的障害者の方も同じように障害者であるかどうかの定義というのが法律の中で明確な規定がございません。</p> <p>手帳の交付の数というと、資料に示した通りなのですが、実際に知的障害者の方、精神障害者の方でも手帳を持ってはいないのだけれども、障害福祉サービスを受けたいという御相談はいただいております。そういった方の場合には医師の診断書を出していただいて、手帳の所持と同様に福祉サービスが必要であると判断された場合は、障害福祉サービスの提供ができるということになっています。</p> <p>特に委員の御指摘の精神障害の方につきましては、手帳の交付の数は1,421人ということになっていますが、医療の助成を受けている方が、さらにこの倍近く、合わせると3,000人程度になるかと思えます。数字は医療の助成制度を受けていられるかどうかで把握をしていますし、医師の診断書ですとか、相談支援センター等への相談を通して、私どものほうで実態を把握しまして、必要なサービス提供はしていきたいと考えています。</p>

委員	<p>実数については、今ほどの医療のというので了解いたしましたし、そのことを配慮しないでやっているとは思いませんが、やはり一番支援に結びついていない人達のせつなさ、というものを常日頃施策の中に配慮しながら、頭に入れながら進めていただきたいというのが希望です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他に意見はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>資料 3 - 1にある整理番号 19、こどもすこやか応援事業について、私は栃尾のある方から相談を受けたことがあるのですが、幼稚園に入っている時にすこやか支援をいただいた、そして昨年度から一日入学をするときに、実際の現場の小学校をこのファイルがまわるわけですね。その一日入学のときに非常に差別的な行為を受けたことがあると。このファイルに基づいて、先生方が評価をする、このファイルが学校の現場をまわったために、みんながいる中で、この方は残ってください、あとの方は結構ですので、とか、そういう事柄が起きたと。</p> <p>こういうことは個人情報保護の世の中で非常にまずい点があったような気が私はするのです。幼稚園から小学校に入るにあたっての支援はいいのですが、このファイルが小学校の現場の先生方には非常に需要度があるせいか、その一日入学の際に差別的行為を受けたと耳にしたのですが、この点について行政としての考え方を、今後どのように行うかも含めてお聞きしたいのですが。</p>
学校教育課長	<p>はい。今委員のおっしゃったことが事実であれば、配慮に欠いていたと思いますので、まずは事実であれば指導したいと思います。</p> <p>「すこやかファイル」のことでお話をいただいたと思っているのですが、「すこやかファイル」自体は保育園、幼稚園の時に、このお子さんにはこういった配慮をするといいですよ、というのを保護者の方と保育園、幼稚園の間で共有していただくもので、実は今は保護者の方に持っていただくようにしています。小学校に入っても、ファイル自体は保護者の方に持っていただくようにしていて、小学校に入ると今度は個別の支援計画というものを、学校と保護者の方とそれから必要があれば児童、生徒と一緒に作るのであります。なので、今私はお話をお聞きしただけなので、詳細</p>

	<p>は確認して、委員のおっしゃるようなことがあれば指導したいと思いますが、そのあたりは保護者の方と打合せをするのであれば、こういった打合せをこの日にしますということを事前に連絡しているはずですので、今後も正しい使い方をするように、教育委員会としましては指導していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。その方が教育委員会のほうに相談すると、あくまでも現場のほうにお任せしますので、と言ったそうなんです。ところが現場は教育委員会からの指示です、という答えでした。今後はこういうことの無いようにしていただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>このファイルはその方にとって生活を移す時に非常に重要な面もありますので、その正しい使い方と言いますか、それを徹底するような形にすればいいのかなと思っていますので、よろしく願いします。</p> <p>それではここでずっとやっていると予定の時間になり、次に進めませんので、色々な場面の中で、今現状を見ました。この後第4期で計画だとか事業はずっと続いておりますので、またその中でお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今日は是非お聞きしたいことがいくつかありまして、時間もありませんので簡潔にまとめさせていただきます。</p> <p>資料 2のほうで手帳保持者が増加していると、先ほどお聞きしました。私が大変気にしているのは、高齢の障害者の方が、先ほど高齢になると介護保険のほうに移行していますということでしたが、高齢の障害者が増加しているのではないかと、というのが非常に気になるところです。しかもその中でも独居高齢障害者という方々の実態がどうなっているのか、高齢の独居障害者の場合は、色々な面で災害時、緊急時の対応等も難しいものがありますが、こういった方々をどのように把握していて、今後どのようにしていくつもりなのか。</p> <p>また、手帳保持者が増えている割に、私は視覚障害者福祉協会という任意の福祉団体の代表をしているわけなのですが、私どもの他にも、ろうあ者福祉協会、肢体障害者協会という身体障害のどこの</p>

<p>福祉課長</p>	<p>団体も会員がどんどん減っています。高齢の障害者が亡くなるわけですね、新しい人が入ってこなくて、どんどん会が小さくなっていくという実態があるわけなんです。このあたり任意の団体の力をさることながら、どのようにしたらいいか、悩みの種でありまして、お考えがあるようでしたらお聞きしたいのでよろしく願いします。</p> <p>御質問ありがとうございます。最初のほうの独居高齢者の把握なのですが、これは福祉課のほうでは特にしていないのですが、長寿はつつ課のほうで、毎年民生委員さんをお願いして、高齢者現況調査というのをしています。その中で、一人暮らしであったりとか、高齢者だけの世帯、高齢者と障害者の世帯、高齢者と子どもだけの世帯等といったものを抽出して、民生委員さんに回っていただくことで、現況を確認しております。そこで必要な方につきましては避難行動要支援者名簿に記載をしまして、地域での見守り活動を行っているところです。その中に当然ながら独居障害者の方も包括されているかと思えます。</p> <p>二番目の御質問の、団体の会員の減少についてですが、視覚障害者福祉協会さんとの懇談の際にもいつも話題が出ますので、私ども福祉窓口のほうでもなんとか御協力させていただきたいということで、手帳交付の際に、こういった団体がありまして、団体の中で情報共有等をする、必要な用具の新しい情報ですとか、交流が図られる団体もあります、ということで御紹介はさせていただいています。ただ結果に結びついていないということで、今後協会さんと、この団体の会員減少については一緒に考えていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>では次は資料 3 - 1 についてなのですが、まず障害者多数雇用事業者に対する物品調達ですけれども、そう増えていないかな、というのが私の感想なのですが、ただ金額がその割には大きいものですから、やはりこれは障害者の雇用につながる大きな武器と言いましょうか、そう感じていますので、もう少し幅広くさらに広げてほしい、というのが第 4 期に対するお願いであります。</p> <p>それから障害者スポーツについて、ハンディスポーツの項目で、これもまた第 4 期に反映していただきたく申し上げるのですが、ハンディスポーツもさることながら、最近障害者も高齢化してきて、</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>文化活動に対する支援ですね、例えば劇場で芝居を観る機会が増えているのか、映画館に行く機会が、車椅子、聴覚障害者、視覚障害者等、身体障害に限りますけれども、環境が整っているのかどうか、ということ。スポーツはもちろんですが、今後やはり文化活動に対する支援も是非4期に反映していただければと思っております。</p> <p>それともう一つ、競技力向上ですけれども、2020年もまもなくですが、手をこまねている、と説明にありましたけれども、なんとか長岡からパラリンピックの参加者が出ると、大変な勇気になりますので、それらをにらみながら第4期への反映をお願いしたいと思います。</p> <p>それから、「バリアフリーであいマップ」の作成について、これはまだ検討してらっしゃるとお聞きしています。私も市議会議員時代に福祉総務課長と意見交換させてもらったこともありますが、例えば提案なのですが、平成27年に社会福祉センターが大手通りに進出となります。私も以前から障害者だからこそ街の中で生活をするべきだし、まああまり街の中に人はいませんけれども、人目に触れる場所に出るべきだと考えておまして、この際、「バリアフリーであいマップ」をですね、社会福祉センターが大手通りに移転することをきっかけに、駅前周辺のバリアフリーマップとして、社会福祉センターを含めたマップを作成していただけないかなと、これも御提案でございます。</p> <p>それから、相談サービスの充実というところがありますが、これも大変充実していて、有効に機能しているようにお聞きしています。ただ、私どもも含めた任意の福祉団体の中で、障害者相談員というものがあまして、実はこれがあまり機能していないとお聞きしています。ここ数年、一件の相談もないということもございますので、このあたり相談業務とリンクしながら、障害当事者とリンクをした相談窓口と言いますか、業務を展開していったらどうかと思っております。これもまた第4期に是非反映していただきたいと思っております。</p> <p>意見ばかりで申し訳ありませんけれども、もう少しありますが、時間の関係でこのあたりにしておきます。以上です。</p> <p>今の話は御提案として、これまではまだ第3期の話ですけれども、これから第4期の話をさせていただきますが、反映させていた</p>
---------------	---

<p>委員長</p>	<p>だきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>よろしく申し上げます。では事業はまた継続したり、充実したり、という形で進んでいくかと思しますので、今の話を次につなげていきたいと思っております。</p> <p>それでは、(4)第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>はい。それでは資料 4 をご覧ください。</p> <p>(資料 4 に沿って説明)</p>
<p>福祉課長</p>	<p>引き続き資料 4 「長岡市における障害者施策の主要課題」をご覧ください。</p> <p>(資料 4 に沿って説明)</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。第4期に向けてのお話でした。また最後には重要課題等を6点挙げて、こういう方向で特に詰めていきたい、こういう計画を作りたいということです。</p> <p>それでは、今の説明に対して、質問やご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>障害者施策の中で、一つ一つ挙げていくとどれも大事なことなのですが、主要課題の二点目、子どもから大人まで一貫した支援の推進、というのが、すごくファジーだと思うんですね。施設を作るのか、今説明の中にあった幼稚園、小学校、中学校、からの流れではなくて、国が出しているのは生まれた時から死ぬまでの一貫した支援をしなくてはならない、その中でどういう体制を作るのか、ということなんです。長岡市ではまだ縦割りがすごく大きいんですね。それをいかに縦を流して、流れるような支援ができるのか、形が見えない。どこがそれを担うのかがすごく見えづらい。そこをやはり</p>

	<p>作っていただきたい。それが基幹相談支援センターと一体になるのか、それは分かりませんが、どういう体制づくりを作るのかを示していただきたい。</p> <p>一番最後の差別解消法については平成28年になりますけれども、一昨年には障害者虐待も始まっていますよね。その中で障害者虐待については全く入っていないんですね。きっとこの差別と虐待は一体になってくると思うんですよ。その時に、シェルターに関してもかなり御苦労されていると思うのですが、シェルターがあるということ自体も、市民の方はあまり分からないと思うんです。要するに障害者が虐待を受けたらシェルターに保護できる、親御さんも何が障害の虐待なのか、これは虐待ではないのか、障害者の虐待ほど見えづらくて、分かりづらいものはないんですね。今まで高齢者虐待、児童虐待、すごく進んできているけれども、障害者虐待に関してはすごく手遅れになっている状態で、そこに対する内容も是非施策の中に、差別解消の取り組みの中で障害者虐待も入れてもらえると、ありがたいと思っています。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。非常に重要なことだと思います。他に無いようでしたら、次に進みたいと思います。</p>
福祉課長	<p>では、(5)長岡市障害者自立支援協議会について、事務局から説明をお願いします。</p>
福祉課長	<p>はい。それでは資料 5 をご覧ください。</p> <p>(資料 5 に沿って説明)</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい。自立支援協議会というものがあまして、今説明にありましたように、具体的に当事者・家族、サービス事業所、医療機関その他関係機関が集まって、具体的な問題を共に出し合いながら、部会を作りながら、そしてそれを計画、実践のほうに移していこうという会でございます。</p> <p>それでは、今の説明について、または全体を通してでも結構です。</p>

<p>委員</p>	<p>質問やご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>精神障害者の手帳交付数の話の際に、実数が分からないとありましたが、精神障害者と言うと分からなくなるんですね。その中の病気で言うと分かるんです。例えば統合失調症は人口の0.8%ですので、120人に一人、どこの国でも、どんな人種でも、どういう地域でも大体その比率なので、数が分かります。</p> <p>ところがうつ病になると、患者さんが受診しやすくなった時点で、発生頻度が倍に跳ね上がっているんですね。それから認知症で言いますと、年をとればとるほど多くなるんですが、昔は85歳を過ぎると4人に一人と言われていたのが、2年前のデータでは4割になって変わっていますので、個々の病気で言うとはっきりと分かりますけれども、全体の精神疾患と言うと分からなくなるのが普通です。手帳を使っているかどうかだと強制力が無いので、手帳の数から本当の実数は分かりにくいのが現状だと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。またサービス等々の手立てについてはやはり手帳が必要になってくる、という理解の仕方でもよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>精神科は手帳に関係なく受診できるんですね。だから手帳を取らない人が増えてしまっているということなんです。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>福祉サービスのほうも手帳を持っていなくても、必要ということで医師の判断があれば支給決定はさせていただいているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料 3 - 2 についてお聞きしたいのですが、施設入所者数というところで、24年度330人、25年度326人、とありますが、こちらの数字というのは長岡市全体の施設入所者数ということなのでしょうか。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>そうです。支給決定者の数です。</p>

委員	ここで言うところの施設とは、グループホームも入りますか。
福祉課長	グループホームは含んでいません。グループホームは地域移行した後に入るものになりますので、入所施設とは少し違います。
委員	具体的にはどのようなものですか。
福祉課長	施設名で言いますと、みのわの里更生園だとか、桜花園等です。
委員	長岡市全体でこの人数ということですね。分かりました、ありがとうございます。
委員長	はい、ありがとうございます。ではよろしいでしょうか。これから続いていきますけれども、今日は第3期の進捗状況、現状、そして第4期に向けての計画、課題、大きい方向、その中に第4期に向けての皆様の御意見等ありまして、是非それを活かす方向で進めていっていただきたいと思います。 それから「障害者生活実態調査報告書」は今日説明はございませんが、第4期に向けて実態調査をされたわけですね。非常に分厚いこの報告書は、さて第4期を始めましょう、今年調査をしましょう、ではなくて、少し早めに長岡市のほうで色々な調査を進めて、是非それを第4期の計画に反映させようと思った実態調査です。非常にきめ細かく、前回第3期の時に皆さんの御意見を聞いてできたものですので、またこれを見ていただくと、その内容、計画の方向性、実態が分かるものですので、よろしく願います。
福祉総務課企画係長	では、(6)その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。 はい。次回の会議について若干の御連絡をさせていただきます。次回は9月中ということで、先ほどの資料にもありましたが、計画の総論の素案というものをお示した中で、皆様から御意見を頂戴したいと考えています。また早めに御案内を差し上げたいと思いますので、御協力をよろしく願います。
委員長	はい。次回は9月に行うということで皆様よろしく願います。その時に第4期の計画の素案を皆様にお示しながら、今ま

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>での実績も踏まえながら、また皆様の御意見を伺いたいと思っています。</p> <p>それでは他に無いようですので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この会議の議事録については、後日お送りいたします。なお、長岡市ホームページにも掲載しますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>
<p>8 会議資料 別添のとおり</p>	